

北陽台だより 第334号

# 青い波北陽台

令和8年 8月27日 発行

長崎県立長崎北陽台高等学校

西彼杵郡長与町高田郷3672

TEL 095-883-6844

FAX 095-883-0776

発行責任者 長池 一徳

## 「長崎北陽台生としての誇り」

教頭 小江 諭

暑いが続いていますが、いかがお過ごしですか。

夏の風物詩である全国高校野球甲子園大会が閉幕し、私としてはやや寂しさを感じているところです。私事で大変恐縮ですが、今回は32年前の夏を振り返らせてください。

今から32年前の平成6年7月、本校14回生で当時高校3年生の私は、野球部主将として夏の甲子園長崎県大会（長崎市営大橋球場で行われた最後の大会です。この大会のあと大橋球場は取り壊され、長崎県営野球場（BigN スタジアム）に生まれ変わります。）に臨みました。一回戦は島原南高に12対1、二回戦シード校の波佐見高に2対0、三回戦鎮西学院に4対1、準々決勝佐世保実業に2対0、準決勝第1シードの長崎南山に3対1、決勝は海星高に7対3でそれぞれ勝ち、長崎県代表として夏の甲子園大会への出場権を得ました。強豪校との対戦の中、苦しみながら何とか勝利をつかむたびにチームの団結力が強まり、自分たちの力が段々と高まっていくのを実感する不思議な感覚を今でも憶えています。



平成6年8月8日、第76回全国高校野球選手権大会（夏の甲子園大会）が開幕。一回戦東東京代表の関東一高に2対0、二回戦は高知代表の宿毛高に4対1、三回戦新潟代表中越高に3対2でそれぞれ勝ち、甲子園で三度校歌を歌うことができました。続く準々決勝では、鹿児島代表樟南高に5対14で敗れるのですが、当時の新聞では公立校の予想外の躍進に「青い旋風」と取り上げていただきました。

この32年前の記憶の中で、私にとって忘れられないことがあります。甲子園での一回戦、関東一高との試合。1対0でリードして迎えた七回裏二死一塁、相手の四番打者の放った打球が私の守るセンター後方へと飛んできました。抜けていれば同点に追いつかれる場面で、私は運良くその飛球をつかむことができ、周りの方々からはファインプレーだと誉めていただきました。

しかし、実はこのプレーには伏線となるものがあるのです。

夏の県予選の前哨戦で5月に行われたNHK杯（現在の高野連会長杯）二回戦でのこと。相手はその年の春季大会で優勝した第1シードの長崎南山。両チーム無得点のまま迎えた終盤南山の攻撃、二死満塁から相手四番打者の放った低いライナー性の打球が私の守るセンターへ真っ直ぐ伸びてきました。私は一瞬目測を誤り、真正面から飛んでくるその打球に対して一歩前へ出てしまい、その後急激に伸びてきた打球を捕ることができず、走者一掃の二塁打。結局この試合は1対3で負けました。つまり、「私のせい」で負けたのです。それから私は自分を責め、目の色を変えて同じような打球を捕球する練習を繰り返しました。午前7時30分から始まる早朝補習の前に午前6時頃から行っていた早朝練習でも。自分の失敗でチームが負けるなんて、二度と経験したくはなかったですから。この練習の繰り返しが甲子園でのプレーを生んだのだと私は信じています。

また、甲子園のグラウンドから見たアルプススタンドには、素晴らしい光景が広がっていました。本校の全校生徒がかぶるチューリップハットやスカイブルーのメガホン、多くの先輩方も参加して下さったブラスバンドの演奏、そして勝利後に年度を越えた長崎北陽台生が肩を組み、左右に揺れながら校歌を熱唱する姿。一生忘れられない光景です。

高校時代は苦しいことやきついこともありますが、濃密で、頭も心も体も飛躍的に成長する時期だと思います。長崎北陽台生の皆さんが「知力」「徳力」「体力」すべての面で成長していく姿を、先生方とともに叱咤激励しながら、すぐそばで今後も見守ります。

長崎北陽台生としての誇り（プライド）を胸に、自分の限界を自分で決めず、精一杯自分自身を磨いていきましょう。



# 〈文理探究科プログラム 新宮高校との交流学習会〉

7月14日（火）、文理探究科（理数探究）2年生49名が福岡県の新宮高等学校（理数科40名）を迎えました。まず午前は本校で研究発表を行いました。物理、化学、生物から、情報や海洋など多岐にわたるテーマについて意見交換を行ったことで、新しい視点による数多くの発見があったようです。

また午後は、長崎県工業技術センター、長崎県建設技術研究センター、長崎県環境研修センターに分かれて、見学や実習を行いました。各専門分野を志す生徒にとって、長崎県が行っている具体的な取り組みを目にする機会は貴重であり、意欲がさらに深まりました。

## 開会式～交流発表会



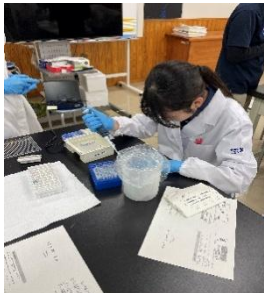
## 長崎県工業技術センター



## 長崎県建設技術研究センター



## 長崎県保健環境研究センター



# 〈文理探究科プログラム 長崎大学「医学部」研修〉

8月4日（火）、5日（水）の2日間、文理探究科（理数探究）2年生49名が長崎大学医学部研修を行いました。

1日目は先端ゲノム研究センター、2日目は被ばく医療総合研修センターで、DNA分析や放射線に関する基礎知識を講義・実習をとおして身につけるとともに、その有効利用について理解を深めました。

また、医学や薬学の関連研究施設を訪問し、その分野の進路を志望する生徒の意欲が高まる、よい機会となりました。

## 先端ゲノム研究センター



## 被ばく医療総合研修センター



## 〈文理探究科プログラム 長崎大学多文化社会学部研修〉

8月7日（金）、文理探究科2年国際探究の生徒が長崎大学多文化社会学部と連携し、「観光」をテーマに研修を行いました。

午前中は多文化社会学部の葉柳教授による講義を受講し、観光客が抱く表象（イメージ）とその現実のギャップについて学びました。その後、多文化社会学部の学生による留学体験談を聞き、異国の生活や勉強について知ること、生徒たちの海外への興味・関心がさらに高まりました。午後は、大学生や留学生とグループを組み、長崎市内の有名な観光地を訪れ、楽しい交流ができました。最後には、観光地が抱える課題や研修の気づきなどについて発表をしました。

「気づく」ことで視野が広がり、「気づく」ためには知識が必要であることを実感できた研修でした。生徒たちは、地元について多角的な視点から考える機会を得ることができ、非常に有意義な研修となりました。



観光の歴史についての講義



フィリピン留学の体験談を聞きました



フィールドワーク中



フィールドワークでの気づきを共有

# 〈文理探究科プログラム 長崎県立大学研修〉

8月19日（水）に、2年文理探究科が長崎県立大学シーボルト校で研修を受けました。生徒たちは、4講座あるテーマから1つを選択し、大学での学びに触れることで、社会や科学に対する分析力・論理的思考力を育むよい機会となりました。



【国際】物語と観光の関連についての講義



【国際】ポスターを作り、発表しました



【情報】プログラミングの講義



【情報】プログラム通り走っておくれ～～



【理化学】唾液アミラーゼについての講義



【理化学】デンプンを加水分解させてみる



【生理学】味覚検査の準備



【生理学】データを分析中

## 〈文理探究科 模擬裁判選手権〉

8月1日（土）に行われた第19回高校生模擬裁判選手権（オンライン大会）と、8月22日（土）に行われた第10回長崎県・佐賀県合同高校生模擬裁判選手権に、2年文理探究科（国際探究）の生徒が参加しました。

これらの大会は、参加する高校生が弁護人役や検察官役となり、架空の事件を題材とした刑事模擬裁判に挑戦するものです。実際の裁判でも行われる冒頭陳述や証人尋問、論告や弁論を行うものです。現役の弁護士や検察官のご指導を受けながら複数の証拠から読み取れる事実を積み上げ、筋道立った論を組み立てて本番に臨みます。長崎県・佐賀県合同高校生模擬裁判選手権では、長崎地方裁判所の法廷で実演するという貴重な経験を積むことができます。

限られた時間の中で2つの大会に向けて準備をしていくのは大変でしたが、今回の活動を通して物事を多角的に見ることの大切さや、事実と価値判断の違い、説得力を持たせる述べ方などを学ぶことができました。また、支援弁護士の先生方のご配慮で実際の裁判の傍聴をさせていただいたり、裁判官の方からもお話を伺ったりする機会もいただきました。貴重な経験を得られて、法曹への関心が高まる機会となりました。

\*写真は転載禁止



## 〈文理探究科 第Ⅰ学年 長崎大学水産学部研修〉

8月6日（木）と8月7日（金）、文理探究科Ⅰ年の生徒が長崎大学水産学部と連携し、フィールドワークを行いました。7月7日（火）に実施した大学訪問で水産学部の先生方から学んだ知識を生かしながら、実験や実習に真剣に取り組めました。

今回は、物理学を活用した「ひずみゲージを使った魚の引っ張り力測定釣り竿の製作」や生化学を活用した「マグロ肉の色を指標とした品質評価」といったさまざまな分野にわたるⅠⅠの班に分かれて研修を行いました。実験に取り組むことで、課題発見力やデータ分析力など、科学的スキルをさらに磨く貴重な機会となりました。

今後は、9月に予定されている成果発表に向けて、生徒たちは実験結果や考察をまとめ、ポスターの作成に力を入れていきます。



# 〈1学年より〉 「好き」に全力で向き合うということ ～長崎大学での研修を通して～

1学年 中川 卓也

「チャレンジをしよう。」私が前号の北陽台だよりで48回生の皆さんにお伝えしたメッセージです。皆さんは8月をどのように過ごしたでしょうか。「もう少し頑張るべきだった。」と後悔している人もいるかもしれません。しかし、1学期の間、北陽台生として走り続けてきた皆さんにとっては、心と体を休める時間も必要だったはずです。自分の取り組みに物足りなさを感じるなら、それを未来へのエネルギーに変えましょう。私も、この夏の休暇を経て、皆さんと頑張るパワーをためることができました。

さて、私がこの夏について振り返った時に、真っ先に思い浮かぶのは、文理探究科の皆さんと長崎大学水産学部での研修に参加したことです。いくつかの班に分かれて活動したのですが、私は「フグの毒性」について学ぶ班の引率を担当しました。研修初日の午前中は長与港での釣りでした。解剖して毒を抽出するためのフグを自ら釣るという内容です。残念ながら狙いのフグは釣れず、キスやハゼばかりでしたが、参加者7名で20匹の釣果でした。私も釣りが好きなのですが、厳しい条件の中でこれだけ釣れたのはすごいことです。ちなみに一番釣った人は一人で7匹。色々な場所へ移動し、海の中を探るように工夫して釣っていたので、その試行錯誤の成果が表れていました。まさに、「探究」という言葉がふさわしい姿勢でした。

午後は水産学部へ移動し、フグの毒を抽出する研修を行いました。自分たちではフグを釣ることができませんでしたが、大学側で用意していただいたフグを解剖し、遠心分離機を使う本格的な内容です。文理探究科の皆さんが楽しみながら研修に臨んでいた様子も印象的でしたが、それ以上に心を動かされたのは、長崎大学の高谷智裕先生、そしてゼミ生の皆さんの「熱量」です。夏休み期間にもかかわらず、10名以上の大学生・大学院生の方が手取り足取り教えてくださいました。

私が毒のある生物について質問をした際も、学生の皆さんがいきいきと答えてくれました。その姿を見て、「自分の好きな学問や分野に全力で関わることの素晴らしさ」を肌で実感しました。

文理探究科の皆さんにとっては、学問に触れる貴重な機会になったことは間違いありません。この「何かに夢中になる」という経験は、決して特定の科や一部の人だけのものではありません。日々の授業、部活動、学校行事など、熱中できる対象は日常の至る所に隠れています。48回生の皆さんには、これからの高校生活の中で、時間を忘れて没頭できる「好きなこと」や「夢中になれる学び」をぜひ見つけていってほしいと改めて思いました。2学期も、48回生一丸となってより一層頑張ります。

## 〈2 学年より〉 *Decide Act Grow!*

2 学年 朝野 美夏

連日の猛暑が続く中、学校生活が始まりました。体力的にも精神的にも夏休み明けは生活リズムの乱れや、現実へのプレッシャーが重なって疲れやすくなる時期です。休日スタイルからシフトチェンジするためには時間がかかることもあるかもしれません。日常を取り戻すためにしっかり朝食を摂り、日付が変わる前には就寝するよう心がけましょう。

2 学期も体育大会や新人戦、文化祭や修学旅行などイベントが目白押しです。体調管理に努めながら仲間との絆を深めてほしいと思います。その一方で、学習面でも本格的に力を注ぐべき時期となりました。専門科目の内容はますます深化し、今まで以上に授業に集中する必要があります。また、これまでの校外模試とは異なり、受験教科は5教科となります。楽しいことばかりに意識が向きがちですが、この2 学期は学習時間の確保に努めましょう。

さて、時間に余裕がなかったり、先生に遠慮していたり、何を質問していいかわからなかったりしている4 7 回生のために、質問コーナーを設けてみました（7 月 2 3 ～ 2 7 日）。授業が始まると質問から遠ざかりがちですが、進研模試の結果も返却されましたし、定期試験を控えていますので勇気を出して質問に行きましょう！



# 〈3 学年より〉 「人生で一番頑張る夏」を終えて、 受験に向かう 4 6 回生へ

3 学年 白石 航也

9 年前は私も皆さんと同じ高校 3 年生として、志望校合格に向けて学習に励んでいました。当時は雲仙合宿（6 泊 7 日）という名称で、学習会が行われており、私も「〇高魂」という母校の名前が入った T シャツを着て参加したことを覚えています。旅館の部屋の壁に机をくっつけ、同じ部屋のクラスメイトがなるべく視界に入らない環境で、黙々と自身の学習を深めつつわからないところは先生に質問に行くという日々でした。皆さんより少しだけ長い人生ですが、やはり高校 3 年生の夏が「人生で一番頑張った夏」だったと今でも思います。

4 6 回生の皆さんも 8 月 3 日から 7 日までの 5 日間、夏季学習会が校内で実施されました。多くの人が 1 日 6 0 0 分（1 0 時間）という、これまで経験したことがないほど長時間の学習に励んだと思います。クラスの生徒の学習計画表や振り返りを読みましたが、多くの人が最終日の 8 月 7 日の振り返りにこのようなコメントを残していました。「明日（8 月 8 日）からもこの 5 日間と同じくらいの学習時間を維持していきたい。」学習会はこれから本格的に自身の学習を深めていくきっかけであり、単に 5 日間の長時間学習に耐えればよいというものではありません。このことを意識して学習会やそれ以降の学習に取り組むことができましたか？改めて自分自身のこの夏の取り組みを振り返ってみてください。

さて、「人生で一番頑張る夏」を終えて、授業が再開され、いよいよ 2 学期がスタートします。授業が始まると、自分のやりたい学習をしていた夏休みとは少し違った生活になります。起床時間、学習開始時間、就寝時間の 3 点固定を意識して、夏休みに身につけた学習習慣を活かしましょう。総合型選抜や学校推薦型選抜、一般選抜など受験の方法や時期、志望校はそれぞれ個人で異なりますが、周りには同じ教室で学ぶ仲間がいます。自分自身の学習を深める中でも、周りを気遣いお互いに切磋琢磨できる雰囲気を作っていきましょう。

最後に、9 年前の私は学習会のときこそ質問に行っていました。夏休み以降職員室の先生方にはなかなか質問に行けませんでした。改めて振り返ると当時の私は「何か言われるかも..」や「今更こんな簡単なこともわからないなんて..」といった変なプライドを持っていたのかもしれません。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」ということわざがあります。わからないことを質問することは少しも恥ずかしいことではありません。むしろ、謙虚な姿勢で学ぶ意志があると言えると思います。最近は AI も発達してきていますが、質問の仕方をかなり工夫しないと皆さんそれぞれの学習状況や理解度にあった回答は返ってきません。その点、我々は皆さんの状況に応じて一生懸命回答します。最初はどんな質問でも構いません。職員室が入りづらければ、授業後の先生に尋ねてみるのもいいと思います。自分の言葉で直接、先生方に質問してみてください。まずは、質問に行くことから始めましょう。繰り返し質問するうちに質問の仕方や内容も上達し、学習がさらに深まっていくと思います。私も 3 学年の学級担任として、微力を尽くして、皆さんの進路実現に向けたサポートをしていきます。

## 〈3 学年進路講演会及び夏季学習会報告〉

去る7月23日(木)、ベネッセコーポレーション白石太陽様を講師にお招きして進路講演会を実施しました。白石様は昨年12月に続き、2度目のご講演です。前回の講演では感想と共に質問事項を白石様へ送信し、多くの質問に対して回答をいただきました。今回は、講演終了後に、個別相談にも応じていただきました。とにかくあきらめずに最後まで学習を続ける、国公立大後期試験まで大いにチャンスがある、といったことが白石様の助言です。以前も多くの生徒が年の近い先輩でもある白石様の話に共感しておりましたが、今回も励まされ、あらためて前向きになれたようです。この夏の取り組みの成果が楽しみです。

また、8月3日(月)～8月7日(金)に3学年で夏季学習会を実施しました。今年度は本校校舎を学習会場としました。B棟2学年の教室も開放いただき、各教室20人弱の定員で行いました。一人あたり机を2つ使用し、学校の空調もよく効いた環境で8:20～18:00の間に各自で思い思いの勉強を進めました。最初と最後のコマを除いた時間に質問も受け付け、学年の枠を超えて教科担当者が対応しました。これほど連続した学習の機会はなかなか無かったと思われます。

中日の8月5日(水)にはPTA会長増本大祐様をはじめ、各学年PTA役員の方々5名にご来校・激励いただきました。差し入れにお菓子や飲料をいただき、リフレッシュできる貴重な時間となりました。増本様の激励のお言葉は、中日で疲労が溜まってきた生徒にとって、更に頑張ろうというきっかけになりました。ご多忙な中、ご来校いただき有難うございました。学習会はあっという間の5日間でした。この体験をきっかけに受験生として1日の過ごし方、時間の使い方に改革があることを願います。しかし、気になることが数点あります。それは、質問が非常に少なかったことです。学習会と言えば、教科担当者が質問の多さに泣くのですが、今年是对応にまったく困りませんでした。質問できるほど学習が深まっていないのではと気になります。また、最後に掃除を行いました。一生懸命掃除できる人、言われないと動かない人、言われてもダラダラとする人、それぞれでした。ささやかなことですが、一つ一つの誠実な積み重ねが、最後の自分の成果につながるのではと密かに感じた時間でした。

保護者の皆さま、2学期は一層受験へ向けての準備ごとが増えていきます。引き続きご支援よろしくお願いたします。





夏季学習会の模様です。PTAより差し入れをいただきました。有難うございました。

### 9月の主な行事予定

- 2日(水) 体育大会予行
- 4日(金) 代休(9/5)
- 5日(土) 会場設営・班別集会
- 6日(日) 体育大会
- 7日(月) 代休(9/6)
- 8日(火) 3年放課後講座再開(～9/18)
- 12日(土) 対外模試(3年)
- 13日(日) 対外模試(3年)
- 14日(月) 中学生対象部活動自由見学(～9/18)
- 19日(土) 土曜講座(3年) 学校開放(～16:30)
- 24日(木) 試験時間割発表  
長崎大学水産学部研修成果発表会(1年文理探究科)
- 25日(金) 英検1次
- 26日(土) 学校説明会(長与町民文化ホール)

